

エネルギー環境

教育のひろば



北海道エネルギー
環境教育研究委員会
会組織広報部会
2005.9.21
第3号 発行

エネフォーラムin北海道

去る平成十七年七月三十日札幌コンベンションセンターにおいて、「エネルギー環境教育研究フォーラムin北海道」が本委員会共催で開催された。当日は猛暑の中、旭川や函館など全道各地から多くの先生方が集まり、大ら上げから3カ年の活動を振り返り、盛況となった。午前の発表では、本研究会から鳥居会長が講演を行い、この研究会の立



け、「北海道のエネルギー環境教育について、若い会員への啓発と参加しやすい日程に配慮しながらすすめてまいりますので、会員の皆様の積極的な参加と新規会員の開拓をお願いいたします。」

地に足のついた活動の推進を 副委員長 谷 眞人

本会では、今年度を「過去3年間の活動の延長線上に発展させていくこと」を基本に、日常活動の中で、今までの活動に肉付け(理論付け・充電)を行う年度」として位置づけています。組織広報部会でも、この方針にそって「実働会員の掘り起こし」と「拠点地域(函館・旭川・釧路)の整備」に重点的に取り組むこととしていきます。また、「研修・視察旅行」の

企画について、若い会員への啓発と参加しやすい日程に配慮しながらすすめてまいりますので、会員の皆様の積極的な参加と新規会員の開拓をお願いいたします。引き続き、本紙「エネルギー環境教育のひろば」の発行も行いますので、会員の情報交換の場として活用するとともに、よりよい紙面作りのために意見要望をお寄せいただければ幸いです。

育を考える」というテーマでブレインストーミングを行い、活発な話し合いのもと、その内容を発表交流した。一日日程で行われたフォーラムだったが、「多くの先生方と今後のエネルギー環境教育について真剣に討議する機会ができて大変有意義であった。」という参加者の声がかかれた。次回開催が待ち遠しい。



道外視察(東芝・三菱見学)
平成十七年八月九〜十一日3日間、北大のエネルギー教育研究会と本委員会の共催で道外視察が催された。今回は神奈川県横浜市を中心とした施設の視察を行った。東芝科学技術館、三菱み



最新の石炭火力、バイオマなど未来科学館などで最先端技術の展示を視察した。か、磯子エンジンアリングセンターという実物大の原子炉容器の修理等の訓練施設や地球シミュレーションセンターでスーパーコンピュータ解析 電力中央研究所で校教育の重要性を感じた。

エネルギー環境教育

秋の施設視察開催

日時 平成十七年十月一五日
(土曜日)10時〜一五時半

場所 札幌市内

- ・ リポートサーブス北海道
- ・ 北海道大学農学部
- ・ 札幌駅南口JRTタワー

内容 見学マップ作成のための対象施設を中心とした視察会
小型風車 ノイスシールド

ガスコージェネレーション見学

*詳しい内容は別送の「案内を」をご覧ください。一日日程です
ので奮ってご参加下さい。

エネ関係教員貸し出し中

本会では会員の皆様に風力発電の実験用模型・自転車発電機などの貸し出しをしております。利用ご希望の方は、下記エナジートークにお電話等でお尋ねください。

北海道エネルギー環境教育研究委員会
連絡先 北海道エナジートーク21
北1条西5丁目 北1条三井ビル2F
ホームページアドレス <http://www.enetalk21.gr.jp>
TEL-011(251)9710, FAX-011(251)3974